

ラヴァル大学

- 第1回 「コースの案内 はじめに：宇宙、人、歴史と文化、アジアのコミュニティ」
(9月5日) Shenwen Li (ラヴァル大学、教授)
- 第2回 「近代日本の国際関係 (1853-1919)」
(9月12日) 松沼美穂 (群馬大学、教授)
- 第3回 「言語と文化：中国語、日本語、韓国語」
(9月19日) Xiaomian Xie, Sonia Engberts
- 第4回 「儒教とアジア：伝統と近代」
(9月26日) Ghiglione Anna (モントリオール大学、教授)
- 第5回 「中国社会へのラベルと儒教儀式の影響」
(10月3日) Qinfu Tang
- 第6回 「中国の文学と日中韓文化交流」
(10月10日) 姜允玉 (明知大学、教授)
- 第7回 「中国清朝の伝統的な社会政治システム」
(10月17日) Pierre-Etienne Will (コレージュ・ド・フランス)
- 第8回 「過去から現在まで：中韓の文化交流」
(10月24日) 孫衛國 (南開大学、教授)
- 第9回 「東と西の間：知覚とその他の表現／中間試験」
(11月7日) Paul Servais (ルーヴァン・カトリック大学、教授)
- 第10回 「アジア諸国の経済発展パターン」
(11月14日) Zhan Su (ラヴァル大学ビジネススクール、教授)
- 第11回 「中国移民と中国とフィリピンの文化貿易関係」
(11月21日) フレデリック・ロウグランド (ラヴァル大学、教授)
- 第12回 「台湾の原住民と多文化主義」
(11月28日) Simon Scott (オタワ大学、教授)
- 第13回 「アジア社会の政治システム：アジアにおける協力と地域安全保障経済」
(12月5日) Gérard Hervouet (ラヴァル大学、教授)
- 第14回 「- なぜ今アジア社会が必要なのか - その必要性と意味 - / 最終試験と論文提出」
(12月12日) 鄭俊坤 (ワンアジア財団、首席研究員)

※講義日程および内容は講師の都合等により変更になることがあります。